

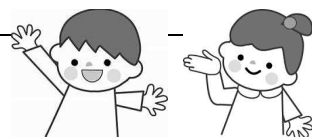
のびのび



平成30年度校長室だより 第8号 平成31年1月10日

湯田小学校の大切な言葉：あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

30年度チャレンジ目標：湯田小ABC



今年もよろしくお祈りします

校長 伊藤 豊

新しい年を迎えました。明けましておめでとうございます。学校は、8日に3学期の始業式を終えました。冬休みの間ひっそりと静まりかえっていた校舎や校庭に、元気な湯田っ子の声に戻ってきました。

昨年中は、温かい保護者や地域の皆様のお力添えと励ましをたくさんいただきました。心より感謝しております。本年2019年は、元号が改まる大きな節目の年です。子供たちにとっては初めての経験です。学年それぞれに応じて、世の中の動きに関心をもつよい機会になることでしょうか。学校関係者としては、春の10連休が子供たちの学校生活リズムにどのような影響があるのかが気になるところですが、先ずは、この3学期の教育活動を充実させていきたいと思えます。コミュニティ・スクールである湯田小学校にとって、保護者や地域の皆様の力強い応援が欠かせません。子供たちも新しい年を迎えて意気込んでいます。本年も引き続きどうぞよろしくお祈りします。



こんなところに…「やさしい言葉」

始業式に先立って、代表児童が新年の誓いを読み上げてくれました。随所にやさしい言葉が光っていましたので、一部を抜粋してご紹介します。

1年生 Kさん

たいいくのじゅぎょうでなわとびのれんしゅうをしています。なかなかじょうずにとべません。でもあきらめずにいまはゆっくりなわと、あしもとを見ながらとんでいます。いつかじょうずにとびたいです。



→自分自身が今できることを精一杯続けているところが立派ですね。努力と練習は決して無駄にはなりません。がんばるKさんの「とべた！！」という声が今学期中にきっと聞けると信じています。

3年 Aさん

れんぞく二重とびができるようになりたいです。そして、もっとむずかしいわざにちょうせんしたいです。

今年のわたしは、七転び八起きで、くじけないでがんばります。

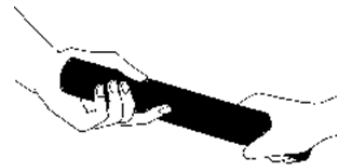


→自分が達成したい目標がきちんと見通せているところがすばらしいと思います。つまりいたらすぐに諦めてしまう子供とは違い、つまずきを恐れていません。七転び八起き、いい言葉を知っています。

6年生 Nさん

小学校の3学期は中学校のゼロ学期と考えて準備していきたいと思います。そして、今の6年生のみんなと湯田小の最上級生としての姿を示し、5年生にバトンを引き継げるように頑張ります。

→卒業だけがゴールではないことを自覚しています。次のステップに進むには準備があることが分かっていますね。さすがです。ゼロ学期と位置づけたこの3学期をバトンゾーンとして、無事に後輩に引き継いでくれることを期待します。

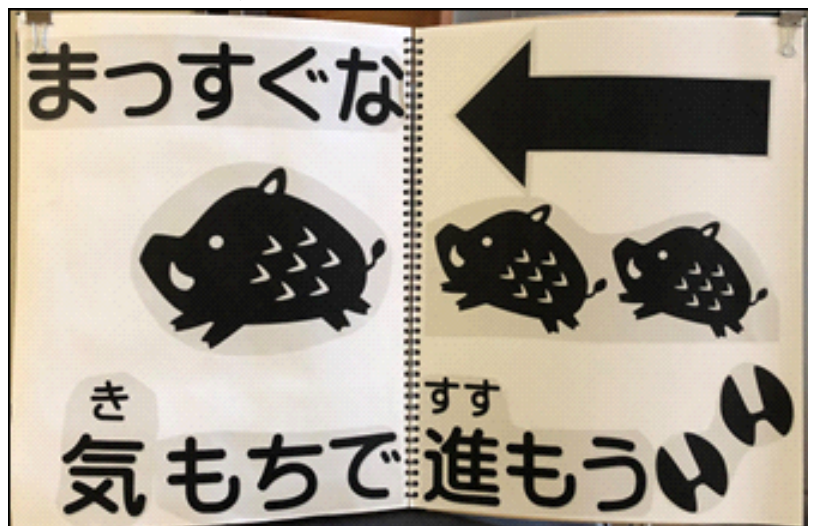


湯田小 ここがいいね



8日の始業式で子供たちに「まっすぐな気持ちで進もう」と伝えました。今年の干支は「亥」イノシシです。元気のいい湯田小の子供たちには「猪突猛進」という言葉がすぐに思い当たるのですが、イノシシの猛進する姿のごとく「目標に向けて頑張ろうとするまっすぐな気持ち、まっさらな気持ち」を大切にしてほしいと願います。

2学期終業式の時もそうでしたが、8日の始業式の「凜」とした雰囲気もすばらしいと感じました。約700名の小学生が時を待ち、動きと声を揃え、静かに聞き入る姿は感動的でした。しかも、これが全て子供たちの自発的な態度だから美しさは格別です。今回、体育館で「凜」とした雰囲気を最初につくったのが1年生の子供たちでした。4月から、本校教職員をはじめと多くの皆様を磨かれ、お互いを磨き合ってきた子供たちは、確実に成長しています。



さて、「まっすぐな気持ちで進む」ための鍵は「やさしい言葉」をたくさん口にしようということであると伝えました。生徒指導主任からは、「悪口やかげ口を言わないこと、やさしい言葉を口にしよう。」と重ねて伝え、3学期は湯田小ABCのC（チャレンジ）することを大切にしていこうと励ましたところでした。

保護者や地域の皆さま、どうぞ意識して子供たちの口から出る言葉に耳を澄ませてください。やさしい言葉が聞こえたら、その場でたくさん褒めてやってください。子供たちは、イノシシの走りのように「まっすぐな気持ち」でどんどん進み出していくと思います。子供たちのチャレンジが始まりました。